

平成19年度

南三陸町

成人式



菅野伊世さん(◎峰畑)は「常に向上心を持って自分を磨いていきたい。」と、熊谷広平さん(◎松井田)は「常識ある行動をとり、人々や地域に役立つよう頑張りたい。」と、成人の抱負を述べました。



司会は、新成人の菅原嘉倫さん(◎袖浜・写真左)と後藤里美さん(◎坂本)が務めました。

おめでとう 希望に輝く20歳の門出

平成19年度の南三陸町成人式が8月15日(水)、町総合体育館「ベイサイドアリーナ」文化交流ホールで開催され、新成人276人の門出を祝いました。

式典では、佐藤町長が「これまで皆さんの成長を支えてくれた家族や、出会った多くの人々への感謝の気持ちを忘れず、大人としての決意を新たに、勇気と希望をもって未来に羽ばたいてほしい。」と式辞を述べました。

新成人を代表して、佐々木真和さん(◎切曾木)が「社会人としての自覚と責任を持ち、自らの将来を見据え、目標に向かって精進します。」と誓いの言葉を述べました。

式典は、新成人による自主運営の形式で進められ、会場は和やかな雰囲気で行われました。

日ごろから健康管理に努めています

数え100歳

阿部 亀藏さん



満99歳を迎えた阿部亀藏さん(◎田の頭)に、8月20日(月)、町から白寿のお祝い金などが贈られました。男性では初めての該当者となります

明治41年(1908年)8月18日に同家に長男として生まれた阿部さんは、軍人として中国に渡るなど軍隊経験が長く、戦後は畑作やカキ、ワカメの養殖を続けてきました。また、泊浜地区の行政区長を20年にわたり務めました。また、6人の子どもを育て、現在では孫が15人、ひ孫が7人と家族にも恵まれました。

現在の阿部さんは、長男夫婦と孫2人の5人暮らしです。耳が少し聞こえにくくなりましたが、風邪をひかずに元気で、入院経験もありません。朝起きたら、まず新聞を隅々まで読むことが日課で、また、家族や知人との会話が大好きだそうです。

食べ物に好き嫌いはなく、何でも食べるそうです。甘いものを好み、ケーキもよく食べます。

長生きの秘訣は、「毎日血圧を測るなど健康管理に努め、熱い風呂には入らず長風呂はしない。」と教えてくれました。

これからもますますお元気で過ごしてください。



式典後、歌手のまきのめぐみさんによる記念講演が行われました。まきのさんは、歌手になるまでの経緯とそこで体験したことを紹介し、「二度とない人生だから、挑戦の気持ちを持ち続けてほしい」と、新成人を激励しました。

また、講演後、まきのさんは、新成人の皆さんに自身の曲「つばさ」や、絢香の「三日月」など歌をプレゼントしました。



幻想的な光の演出で、夜の汐風を楽しむ

8月11日(土)午後7時から、海水浴場サンオーレそではまを会場に「汐涼み会」が開催されました。砂浜は250個の淡く光るガラスの浮き球とかがり火で飾られ、ミニステージではアコースティックサウンドが行われるなど、訪れた人たちはゆったりとした癒しの時間を楽しみました。

来年、大型観光キャンペーン(DC)が開催されますが、このイベントは、その中の「南三陸の夜を楽しむ企画」として開催されました。



志中生徒会が新潟県中越沖地震被災地に義援金

7月27日(金)、志津川中学校生徒会の代表が役場を訪れ、7月16日(月)に発生した新潟県中越沖地震の被災者支援に役立ててほしいと、義援金23,320円を届けました。

募金活動は、生徒会役員が中心となり、志津川湾夏まつり「トコヤッサイコンテスト」に出場するための練習の際に呼びかけ行ったものです。

この義援金は、他に寄せられた義援金とあわせて、日本赤十字社県支部を通じて被災地へ送られました。



砂浜で熱戦 ビーチバレー大会

8月19日(日)、海水浴場サンオーレそではま特設コートを会場に、「2007南三陸志津川湾ビーチバレー大会」が開催されました。

今年は町内や気仙沼市、本吉町、大崎市、仙台市から、10チーム約50人が参加し、試合はトーナメント戦で行われました。

曇り空で少し涼しい日でしたが、水着姿の選手たちは砂の上でボールを夢中で追いかけ、さわやかな汗を流しました。珍プレー好プレーに歓声があがり、観客からは盛んな拍手が送られました。